# 平成18年度第2四半期再資源化預託金等特別会計収支計算書の前年度同期実績との比較について

資料4－3

Ⅰ　事業活動収支の部

1．事業活動収入

①預託金預り収入

再資源化等預託金預り収入

（1）預託方法別の預託台数

| | 平成18年度<br>年間予算 | 平成18年度<br>第2四半期決算(a) | 平成17年度<br>第2四半期決算(b) | 決算対前年度差異<br>(a)－(b) |
|---|---|---|---|---|
| 新車購入時預託 | 603万台 | 271万台 | 281万台 | △10万台 |
| 継続検査時等預託 | 2,141万台 | 1,218万台 | 1,561万台 | △343万台 |
| 引取時預託（※1） | 115万台 | 113万台 | 125万台 | △12万台 |
| 引取時預託（※2） | 27万台 | 8万台 | 2万台 | 6万台 |
| 合計 | 2,887万台 | 1,610万台 | 1,969万台 | △360万台 |

（※1）エアコン後付預託を除く。
（※2）エアコン後付預託のみ。

【継続検査時等預託について】
継続検査時等預託における普通貨物車等の預託が前年度でもってほぼ完了しているため、平成18年度第2四半期の継続検査時等預託台数は前年度同期実績を下回っている。

【引取時預託（エアコン後付預託を除く）について】
引取業者引取台数のうち新車購入時・継続検査時等で既に預託済みの台数の比率が高まっている（＝引取時預託台数（エアコン後付預託を除く）の比率が低下している）ことから、平成18年度第2四半期の引取業者引取時の預託台数（エアコン後付預託を除く）は、前年度同期実績を下回っている。
なお、平成18年度の引取業者引取台数に対する引取時預託台数（エアコン後付預託を除く）の比率が当初想定を上回っていることから、平成18年度第2四半期の引取時預託台数（エアコン後付預託を除く）は平成18年度年間予算想定台数の98％にまで達した。

（2）品目別の平均単価（エアバッグ類・エアコン未装備車を除いたもの）

| | 平成18年度<br>年間予算 | 平成18年度<br>第2四半期決算(a) | 平成17年度<br>第2四半期決算(b) | 決算対前年度差異<br>(a)－(b) |
|---|---|---|---|---|
| ASR | 約6,400円 | 6,222円 | 6,256円 | △34円 |
| エアバッグ類 | 約2,300円 | 2,286円 | 2,235円 | 51円 |
| フロン類 | 約2,100円 | 2,081円 | 2,105円 | △24円 |
| 合計 | 約10,800円 | 10,589円 | 10,595円 | △6円 |

（3）品目別の装備率

| | 平成18年度<br>年間予算 | 平成18年度<br>第2四半期決算(a) | 平成17年度<br>第2四半期決算(b) | 決算対前年度差異<br>(a)－(b) |
|---|---|---|---|---|
| エアバッグ類 | 72% | 69% | 58% | 11 |
| フロン類 | 95% | 89% | 82% | 8 |

①継続検査時等預託において、装備率が比較的低いと想定される貨物車の預託が終息に向かい、乗用車の預託比率が高まっていると想定されること、②継続検査時等預託台数の減少に伴い装備率が比較的高い新車購入時預託の比率が高まっていることから、平成18年度第2四半期の装備率は前年度同期実績を上回っている。

（4）金額

| 平成18年度<br>年間予算 | 平成18年度<br>第2四半期決算(a) | 平成17年度<br>第2四半期決算(b) | 決算対前年度差異<br>(a)－(b) |
|---|---|---|---|
| 286,265,559千円 | 154,932,630千円 | 182,542,296千円 | △27,609,666千円 |

情報管理預託金預り収入

（1）預託方法別の預託台数

| | 平成18年度<br>年間予算 | 平成18年度<br>第2四半期決算(a) | 平成17年度<br>第2四半期決算(b) | 決算対前年度差異<br>(a)－(b) |
|---|---|---|---|---|
| 新車購入時預託 | 603万台 | 271万台 | 281万台 | △10万台 |
| 継続検査時等預託 | 2,141万台 | 1,218万台 | 1,561万台 | △343万台 |
| 引取時預託 | 115万台 | 113万台 | 125万台 | △12万台 |
| 合計 | 2,859万台 | 1,601万台 | 1,967万台 | △366万台 |

平成18年度第2四半期の預託台数は前年度同期実績を下回っているが、1台当たりの情報管理預託金が前年度の130円から平成18年度は230円となっていることから、平成18年度第2四半期の情報管理預託金預り収入の額は前年度同期実績を上回っている。

（2）金額

| 平成18年度<br>年間予算 | 平成18年度<br>第2四半期決算(a) | 平成17年度<br>第2四半期決算(b) | 決算対前年度差異<br>(a)－(b) |
|---|---|---|---|
| 6,576,418千円 | 3,682,406千円 | 2,557,001千円 | 1,125,405千円 |

**②特定資産運用収入－再資源化預託金等特定資産運用収入**

**金額**

| 平成18年度<br>年間予算 | 平成18年度<br>第2四半期決算(a) | 平成17年度<br>第2四半期決算(b) | 決算対前年度差異<br>(a)－(b) |
|---|---|---|---|
| 5,840,662千円 | 2,480,651千円 | 639,171千円 | 1,841,481千円 |

保有債券残高の積み上がり等により平成18年度第2四半期実績は前年度同期実績を上回っている。

【参考】保有債券残高

| 平成18年度<br>第2四半期末残高(a) | 平成17年度<br>第2四半期末残高(b) | 実績対前年度差異<br>(a)－(b) |
|---|---|---|
| 5,521億円 | 2,197億円 | 3,324億円 |

**2. 事業活動支出**

**①預託金払渡支出**

**再資源化等預託金払渡支出**

**(1)品目別の払渡台数**

| | 平成18年度<br>年間予算 | 平成18年度<br>第2四半期決算(a) | 平成17年度<br>第2四半期決算(b) | 決算対前年度差異<br>(a)－(b) |
|---|---|---|---|---|
| ASR | 342万台 | 175万台 | 128万台 | 47万台 |
| エアバッグ類 | 69万台 | 34万台 | 20万台 | 15万台 |
| フロン類 | 273万台 | 133万台 | 102万台 | 30万台 |

**(2)品目別の平均単価**

| | 平成18年度<br>年間予算 | 平成18年度<br>第2四半期決算(a) | 平成17年度<br>第2四半期決算(b) | 決算対前年度差異<br>(a)－(b) |
|---|---|---|---|---|
| ASR | 約5,900円 | 5,901円 | 5,848円 | 54円 |
| エアバッグ類 | 約1,900円 | 1,856円 | 1,841円 | 15円 |
| フロン類 | 約2,100円 | 2,092円 | 2,090円 | 2円 |

**(3)金額**

| 平成18年度<br>年間予算 | 平成18年度<br>第2四半期決算(a) | 平成17年度<br>第2四半期決算(b) | 決算対前年度差異<br>(a)－(b) |
|---|---|---|---|
| 27,184,521千円 | 13,744,411千円 | 9,974,801千円 | 3,769,611千円 |

平成18年度の引取業者引取台数は前年度を上回るペースで推移しているため、平成18年度第2四半期の払渡台数は前年度同期実績を上回っている。

【参考】引取業者引取台数

| 平成18年度<br>第2四半期実績(a) | 平成17年度<br>第2四半期実績(b) | 実績対前年度差異<br>(a)－(b) |
|---|---|---|
| 179万台 | 144万台 | 35万台 |

**情報管理預託金払渡支出**

**(1)台数**

| 平成18年度<br>年間予算 | 平成18年度<br>第2四半期決算(a) | 平成17年度<br>第2四半期決算(b) | 決算対前年度差異<br>(a)－(b) |
|---|---|---|---|
| 342万台 | 188万台 | 145万台 | 44万台 |

**(2)金額**

| 平成18年度<br>年間予算 | 平成18年度<br>第2四半期決算(a) | 平成17年度<br>第2四半期決算(b) | 決算対前年度差異<br>(a)－(b) |
|---|---|---|---|
| 576,680千円 | 339,650千円 | 187,942千円 | 151,708千円 |

**未払再資源化預託金等利息支払支出**

**金額**

| 平成18年度<br>年間予算 | 平成18年度<br>第2四半期決算(a) | 平成17年度<br>第2四半期決算(b) | 決算対前年度差異<br>(a)－(b) |
|---|---|---|---|
| 67,243千円 | 27,515千円 | 0.4千円 | 27,515千円 |

平成16年度の利率は0．004％であったが、平成17年度の利率は0．38％であることから、平成18年度第2四半期実績は前年度同期実績を上回っている。

**②預託金輸出返還支出**

**再資源化預託金等輸出返還支出**

**（1）台数**

| 平成18年度<br>年間予算 | 平成18年度<br>第2四半期決算(a) | 平成17年度<br>第2四半期決算(b) | 決算対前年度差異<br>(a)－(b) |
|---|---|---|---|
| 31万台 | 10.4万台 | 0.2万台 | 10.2万台 |

**（2）金額**

| 平成18年度<br>年間予算 | 平成18年度<br>第2四半期決算(a) | 平成17年度<br>第2四半期決算(b) | 決算対前年度差異<br>(a)－(b) |
|---|---|---|---|
| 3,138,012千円 | 1,021,675千円 | 20,461千円 | 1,001,214千円 |

輸出返還は平成17年7月から開始されたために前年度同期実績はまだ少ない。よって、平成18年度第2四半期の輸出返還台数は前年度同期実績を上回っている。

**未払再資源化預託金等利息支払支出**

**金額**

| 平成18年度<br>年間予算 | 平成18年度<br>第2四半期決算(a) | 平成17年度<br>第2四半期決算(b) | 決算対前年度差異<br>(a)－(b) |
|---|---|---|---|
| 7,394千円 | 2,260千円 | 0.003千円 | 2,260千円 |

**③他会計への繰入金支出**

**承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出**

**金額**

| 平成18年度<br>年間予算 | 平成18年度<br>第2四半期決算(a) | 平成17年度<br>第2四半期決算(b) | 決算対前年度差異<br>(a)－(b) |
|---|---|---|---|
| 761,556千円 | 761,556千円 | 413,578千円 | 347,978千円 |

**未払再資源化預託金等利息支払支出**

**金額**

| 平成18年度<br>年間予算 | 平成18年度<br>第2四半期決算(a) | 平成17年度<br>第2四半期決算(b) | 決算対前年度差異<br>(a)－(b) |
|---|---|---|---|
| 2,821千円 | 2,821千円 | 0.017千円 | 2,821千円 |

【参考】出えん実績

| 出えん先 | 出えん額（※） | |
|---|---|---|
| | 平成18年度 | 平成17年度 |
| 指定再資源化機関 | 414,377千円 | 413,578千円 |
| 情報管理センター | 350,000千円 | ― |
| 合計 | 764,377千円 | 413,578千円 |

（※）「承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出」と「未払再資源化預託金等利息支払支出」の合計額。

**Ⅱ　投資活動収支の部**

**1．投資活動収入**

**①特定資産取崩収入ー再資源化預託金等特定資産取崩収入**

**金額**

| 平成18年度<br>年間予算 | 平成18年度<br>第2四半期決算(a) | 平成17年度<br>第2四半期決算(b) | 決算対前年度差異<br>(a)－(b) |
|---|---|---|---|
| 32,273,736千円 | 16,235,670千円 | 10,578,186千円 | 5,657,484千円 |

預託金払渡支出・預託金輸出返還支出・他会計への繰入金支出の平成18年度第2四半期実績が前年度同期実績を上回っていることから、これらの支出の原資となる特定資産取崩収入の平成18年度第2四半期実績も前年度同期実績を上回っている。

**2．投資活動支出**

**①特定資産取得支出ー再資源化預託金等特定資産組入支出**

**金額**

| 平成18年度<br>年間予算 | 平成18年度<br>第2四半期決算(a) | 平成17年度<br>第2四半期決算(b) | 決算対前年度差異<br>(a)－(b) |
|---|---|---|---|
| 337,348,392千円 | 177,943,995千円 | 202,244,881千円 | △24,300,886千円 |

継続検査時等預託台数の減少により預託金預り収入の額が減少していることに伴い、資金管理法人の口座への入金額も減少していることから、平成18年度第2四半期の特定資産取得支出は前年度同期実績を下回っている。